

「太陽光発電でロープトローは動くのか!?!」

4月8日・9日に湯殿山で開催される地形イベント「DRRREAM SESSION」に

FUTURE LAB. SUPPORTED BY Burtonがコラボレーション

Burtonがサポートする、太陽光発電で稼働するロープトローを使ってスノーボード・スノースケート・スノートイを楽しむプロジェクト「Future Lab. 2023」が、4月8日（土）・9日（日）に山形県・湯殿山スキー場にて開催される地形イベント「DRRREAM SESSION」とコラボレーションいたします。

DIGGIN' MAGAZINE主催の「FUTURE LAB.」と題された“太陽光発電でロープトローを動かすチャレンジ”は、2022年3月に初めて開催されました。当日は、小雨と小雪まじりの曇天によって、太陽光発電によるロープトロー稼働は叶いませんでしたが、予備発電機によって動かされた昔ながらのシンプルナリフトを多くの参加者が利用し、日本各地でコースのプロデュースやスノーイベントを手がける「地形研究会」によって造成された特別なコースを、参加者が思い思いに楽しむイベントとなりました。そして、今年こそは太陽光の力でロープトローを動かしたいという思いで、3月中旬に新潟県・八海山麓スキー場にて「Future Lab. 2023」が計画されておりましたが、雪不足により開催が実現しませんでした。その思いを引き継ぐ形で、この度「DRRREAM SESSION」とコラボレーション。「地形研究会」と「R天国」湯殿山スキー場によって創り出される特別なコースに、ロープトローが出現します。

ロープトローは、雪面上を滑走して移動する専用の搬器に、掴まる・跨がる・あるいは背中や腰にあてがうといった形で、利用者が雪面を滑りながら登る簡易リフトです。日本各地の雪国では近年、降雪の減少や新型コロナウイルスの影響、施設の老朽化といった様々な要因により、ローカルスキー場が閉鎖されるケースが増加しています。また、莫大なコストがかかるリフトの稼働も、スキー場の経営を圧迫する大きな要因の一つと言えます。一方で、そうしたコンパクトなスキー場が、太陽光発電と蓄電を併用したり、バイオディーゼルを利用することで、コストを抑えて簡易リフトを稼働させることができるようになれば、スキー場経営継続の活路を見出したり、閉鎖されたスキー場跡地を有効活用したりする可能性もあると考えられ、このような事実を知っていただくことも、「Future Lab. 2023」開催の大きな意義となっていました。

Burtonでは、山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、このプロジェクトをサポートするとともに、スキー場が抱える課題や、その解決に向けた取り組みがより多くの方に伝わり、具体的なアクションとして波及していくように、様々な活動を展開していきます。

「DRRREAM SESSION」イベント概要

【場所】

R天国 湯殿山スキー場

【日時】

2023年4月8日（土）・4月9日（日）

9:30 - 15:00（メインパーク） 15:00 - 17:00（ローアーセクション）

【参加費】

18歳以上：4000円 / 1day

湯殿山スキー場22-23シーズンパスホルダー：3000円 / 1day

18歳未満：3000円 / 1day

小・中学生：無料

【地形研究会とは!?!】

白馬乗鞍で毎年開催されている「DREAM SESSION」など、日本各地でコースとイベントを手掛ける、長野在住の熟達スノーボーダーたちによって構成されたマニアック集団。ヨコノリでストックできる地形を、積雪量や天候など変化の激しい自然状況に合わせながらクリエイティブしています。

【詳細及び問い合わせ】

[DIGGIN' MAGAZINE公式Instagram](#)

Burtonの活動の全ては、ブランドが掲げる「[パーパス](#)」に基づいています。山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、「人」、「地球」、そして「スノーボード」のためにできることは何か？を常に追求し、行動に移しています。今シーズン展開されているプロダクトの一つ一つにも、それらの想いが込められています。

Burtonのパーパスについて

私たちが目指す未来は明確です。
関わる全ての人々にポジティブな影響を与えること。
環境への負荷を最小限に抑えること。
そして、思いっきりスノーボードを楽しむことです。

人々のために

人々を尊重するという事は、公正な賃金を支払い、責任ある調達を徹底し、誰もが歓迎されるコミュニティを築くことです。

地球のために

環境への負荷を最小限にする。そのために必要なことは、CO2の排出量を削減し、地球や人々にとって安全で、かつ長く使えるプロダクトを作ることです。

スノーボードのために

私たちの使命は、スノーボードの未来を守り、誰もがライディングを楽しめる世の中にあることです。

2025ゴール

クライメートポジティブに向かって

私たちは、2025年までのクライメートポジティブ達成を目指します。
そのために、SBT (Science Based Targets) に沿ってカーボンフットプリントを削減し、その排出量を相殺するための投資を行い、そして気候変動を引き起こす構造レベルでの変革を提唱します。

Certified



Corporation

BurtonはBコーポレーション認証企業

「B Corporation (Bコーポレーション)」=「B Corp (Bコープ)」とは、米国の非営利団体B Labがおこなっている、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度。Burtonは、スノーボードカンパニーとして初めて、2019年に認証を取得しました。

Burtonについて

[ジェイク・バートン・カーペンター](#)は、1977年にアメリカ・バーモント州のガレージでスノーボード作りを始め、Burton Snowboardsを設立。以後、生涯をスノーボードに捧げました。Burtonは、創業時より画期的なプロダクトライン、リゾートに対する草の根的努力、そしてトップレベルのチームライダーにより、スノーボードを裏山での遊び道具から、ワールドクラスのスポーツへと成長させることにおいて、極めて重要な役割を果たしてきました。現在は、スノーボードギアとアウトドアに関連する業界トップのプロダクトをデザイン、製造しています。アウトドア/ウィンタースポーツ業界のサステナビリティ・リーダーとして、スノーボードの企業として世界で初めてB-Corp認証を取得しました。Burtonはドナ・カーペンターにより所有されているプライベートカンパニーで、アメリカ・バーモント州バーリントンに本社、オーストラリア、日本、オーストラリア、カナダ、中国にオフィスを置いています。詳しくはwww.burton.comをご覧ください。